

自己肯定感を高め、
健康で豊かな心を育む教育実践
—学校生活の質と学力の向上—

吉田和夫 yoshidak13@goo.jp

<https://educational-design.jimdofree.com/>

一般社団法人教育デザイン研究所 代表理事
日大文理学部講師(教育課程論・社会教育計画論・
教職実践演習担当) 元玉川大学客員教授

文部科学省 審査会主査

東京都地域学校協働活動推進員

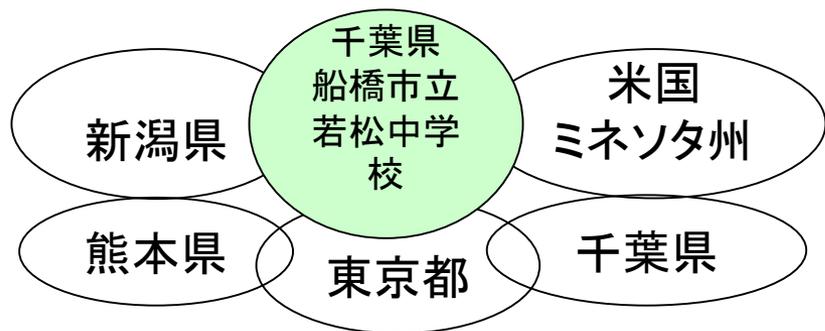
(狛江市統括コーディネーター)

東京都町田市社会教育委員・生涯学習審議会会長

町田市教育委員会評価点検アドバイザー



自己紹介 人生は縁と偶然と人との出会い！



縁リッチメント 縁パワーメント コントラバーシアル



- 千葉県及び東京都の教員 21年 千葉県茂原・船橋(行田中学校6年)・調布・稲城 国語・英語 剣道部・生徒会・委員会・生徒指導・学年経営・学力向上・上越教育大学大学院派遣(米国の母語教育研究で修士論文)
- 品川区・東京都の教育行政(教育委員会指導主事) 7年 教育改革・学校選択制・小中一貫教育・中高一貫教育・人権教育
- 学校管理職 学校選択制vs.地域学校協働活動 9年 杉並区副校長3年(学校図書館・放課後学習・学校支援地域本部2004年)八王子市・新宿区校長 各3年(キャリア教育/コミュニティ・スクール経営2007・2010年)
- 大学教員 9年 玉川大学(教員養成8年)・日大文理学部(9年)
- (一社)教育デザイン研究所代表理事 (各種教育コンテンツ開発事業)
- 社会教育委員(議長)・生涯学習審議会会長 8年
- 東京都地域学校協働活動推進員(狛江市統括コーディネーター) 地域協働
- ピンチはチャンス・失敗は成功の元・人間万事塞翁が馬
- シンクロシティ・セレンディピティ(予期せぬ偶然の結果)

学習に、引き出す力と発信力を！

3

• 疑問・質問(6W2H)

いつ(時)

どこで(場所)

だれが・だれと(人)

何を(内容・コンテンツ)

なぜ・どうして(理由)

どのように(方法)

どこまで(期限・目標)

いつまで(期日・目標)

「質問する力」の強化



国際社会に通用する
日本社会実現のための
引き出す力と発信力の強化

• 感想・意見・批評・提案

こうなるとどうなる？

こうすればどうなる？

これならどうだろう？

これまではどうだった？

これからはどうなる？

~と~の関係はどうか？

~と~の関係をどうする？

~と~の違いとつながりは？

「レスポンス力」の強化



ICTの利活用

船橋市立若松中学校研究発表会11/15

令和元・2・3年度船橋市教育委員会指定

「健康教育」公開研究会のご案内

(第2次案内)

【研究主題】

自己肯定感を高め、健康で豊かな心を育む教育実践

Well-being
(ウェルビーイング)
Healthy
(ヘルシー)
教育におけるDX

4 時 程

受付	公開授業	全体会	分科会
13:00~	13:30~14:20 (国語・数学・保健体育)	14:40~15:40 (研究説明・基調講演)	15:50~16:30 (グループごとに 各教室で実施)

(1) 公開授業・分科会一覧

本校の研究では、各教科を3つのグループに編成し、教科横断的な授業研究を行っています。公開授業や分科会への参加は各教科のグループでご参加ください。

- 表現グループ 国語科 理科 音楽科 美術科
- 学び合いグループ 保健体育科 英語科 技術・家庭科
- 課題解決グループ 数学科 社会科

(2) 基調講演

演 題 「学校生活の質と学ぶ力の向上」

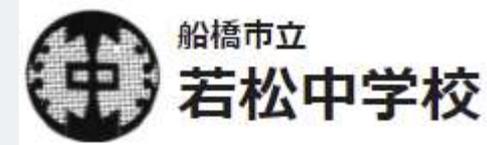
講 師 吉田 和夫 氏

一般社団法人教育デザイン研究所代表理事

日本大学文理学部教育学科講師

分科会グループ	展開授業	単元など	展開場所	分科会会場
表 現	国 語	古文「平家物語」	2-D	2-C
課題解決	数 学	相似の利用	3-B	3-A
学び合い	保健体育	バレーボール	体育館	1-B

本研究の意義と価値



教育委員会と学校との一体的な協働研究

★船橋市教育委員会 保健体育課

★他の学校からの方向を引き継ぐ研究と実践

学びに向かう力

★「主体的に学習に取り組む態度」
の育成



「学ぶ力」の根底となる
心と体の健康

- ★ ウェルビーイング
- ★ ヘルシー

自己肯定感と自己意識

- ★ 振り返りと自己評価
- ★ 自己を大切にする心
- ★ 他者を認める心

教科横断型

研究グループ

- ★ 表現する力
- ★ 学び合い高めあう力
- ★ 課題解決する力

R2(2020).1.22 (水)
船橋市教育委員会指定健康教育研究校
船橋市立若松中学校保護者説明会
の吉田プレゼンより

どのように
やるのか？

PRACTISE

Vision

学びを人生や社会に生かす
将来の目標設定や
自己解決する能力の向上

生涯にわたる健康な生活
(健康で文化的な社会生活)

課題に取り組む意識・課題解決能力の向上

体力・運動能力の向上

人間関係力向上(心の教育)

自己肯定感・学びに向かう力の向上

知・徳・体のバランス

健全な子どもたちの成長を支援する教育環境の構築

Aim

Base

確かな学力 健やかな体と心

豊かな心

健康教育

Concept

若松中学校の 重点目標

R2(2020).1.22(水)
船橋市教育委員会指定健康教育研究校
船橋市立若松中学校保護者説明会
の吉田プレゼンより

- 段階的な学習の見通しをもち、
学びに向かう環境づくりを構築する。
- 学習に興味関心をもたせ、
主体的な学びの実践を行う。
- 学習活動を振り返り意味づけさせ、
自己肯定感をもった
豊かな心の涵養を図る。
- 身につけた基礎学力を活用させ、
課題解決能力の育成を図る。

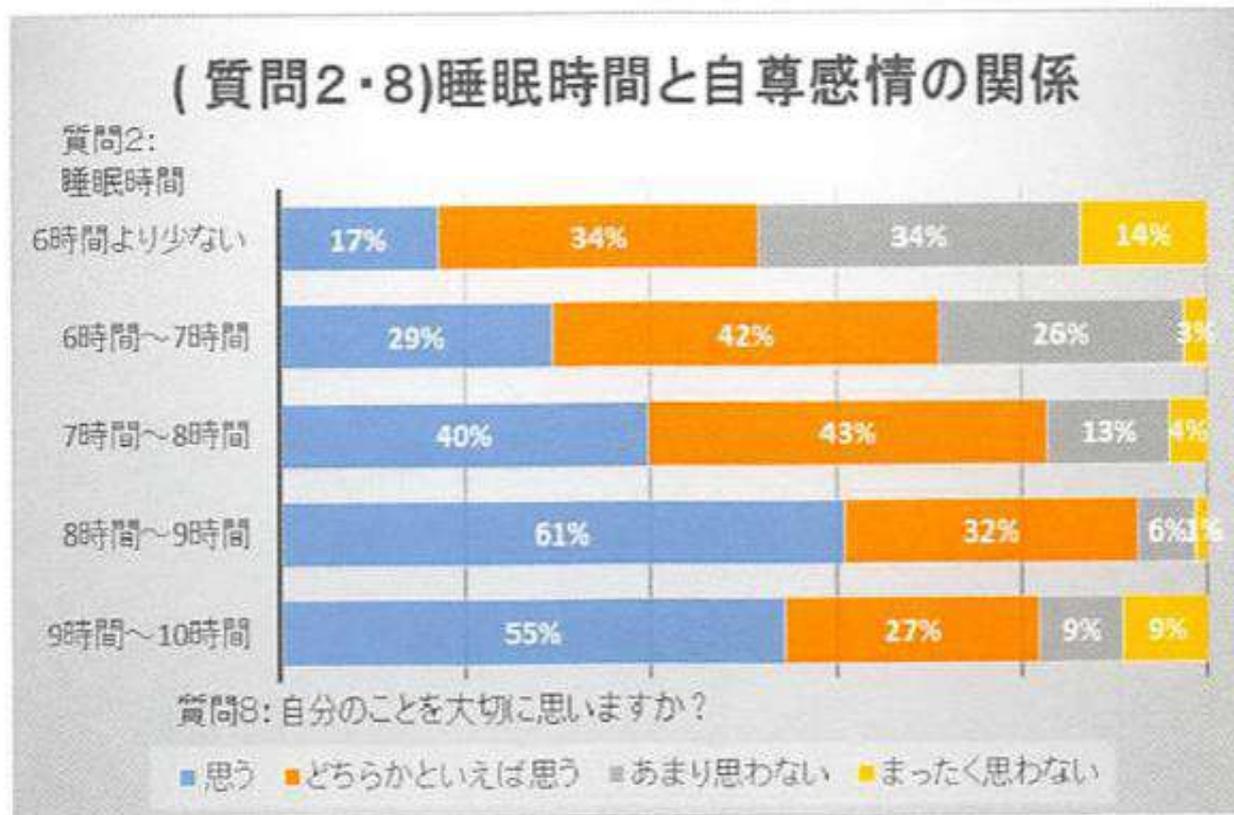
健康
教育

「健康教育」の実践

- 肉体的な健康⇒精神的な健康、そして文化形成
- 健康⇒学力(新しい学力 主体的・対話的で深い学びの実践 「主体的に学習に取り組む態度」)
- **体力** 「運動機能と精神力」
- **睡眠** 「早寝・早起き・朝ごはん」の効果！
- **食事** 「医食同源」「栄養と静養」「日々の体作り」
- 自分の体と心を科学的にマネジメントする姿勢

グラフ3は「睡眠時間」と「自分を大切に思う」の関係を表したものです。

<グラフ3>



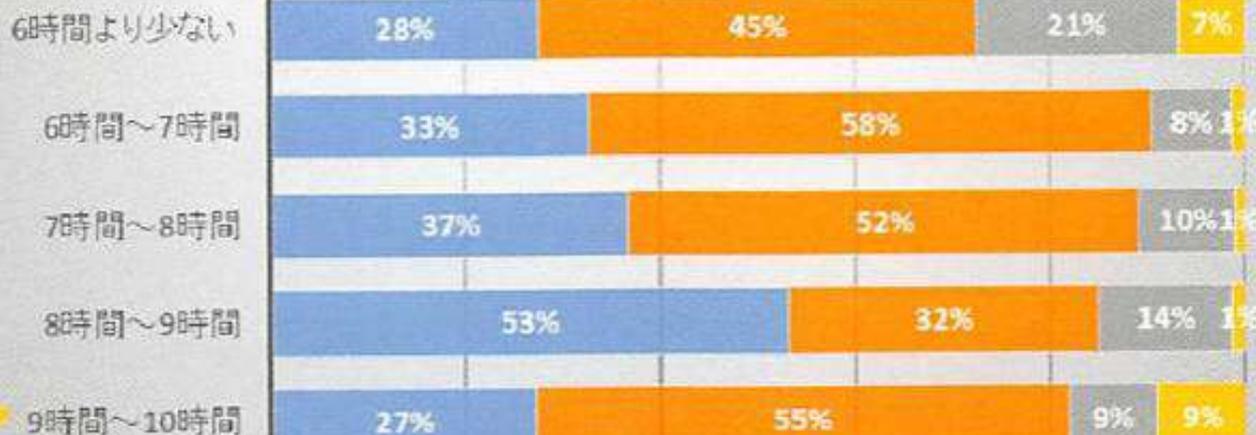
8~9時間寝ている人は「自分を大切に思う」と答える人が一番多いことがわかります。そして9~10時間寝ている人になると減少しています。

グラフ4は「睡眠時間」と「授業中は学習に集中している」の関係を表しています。

<グラフ4>

(質問2・9)睡眠時間と授業集中の関係

質問2:
睡眠時間



質問9:授業中は学習に集中していますか?

■している ■どちらかといえばしている ■あまりしていない ■していない



ここでも「集中している」と答える人の多くは、8～9時間寝ていることがわかります。

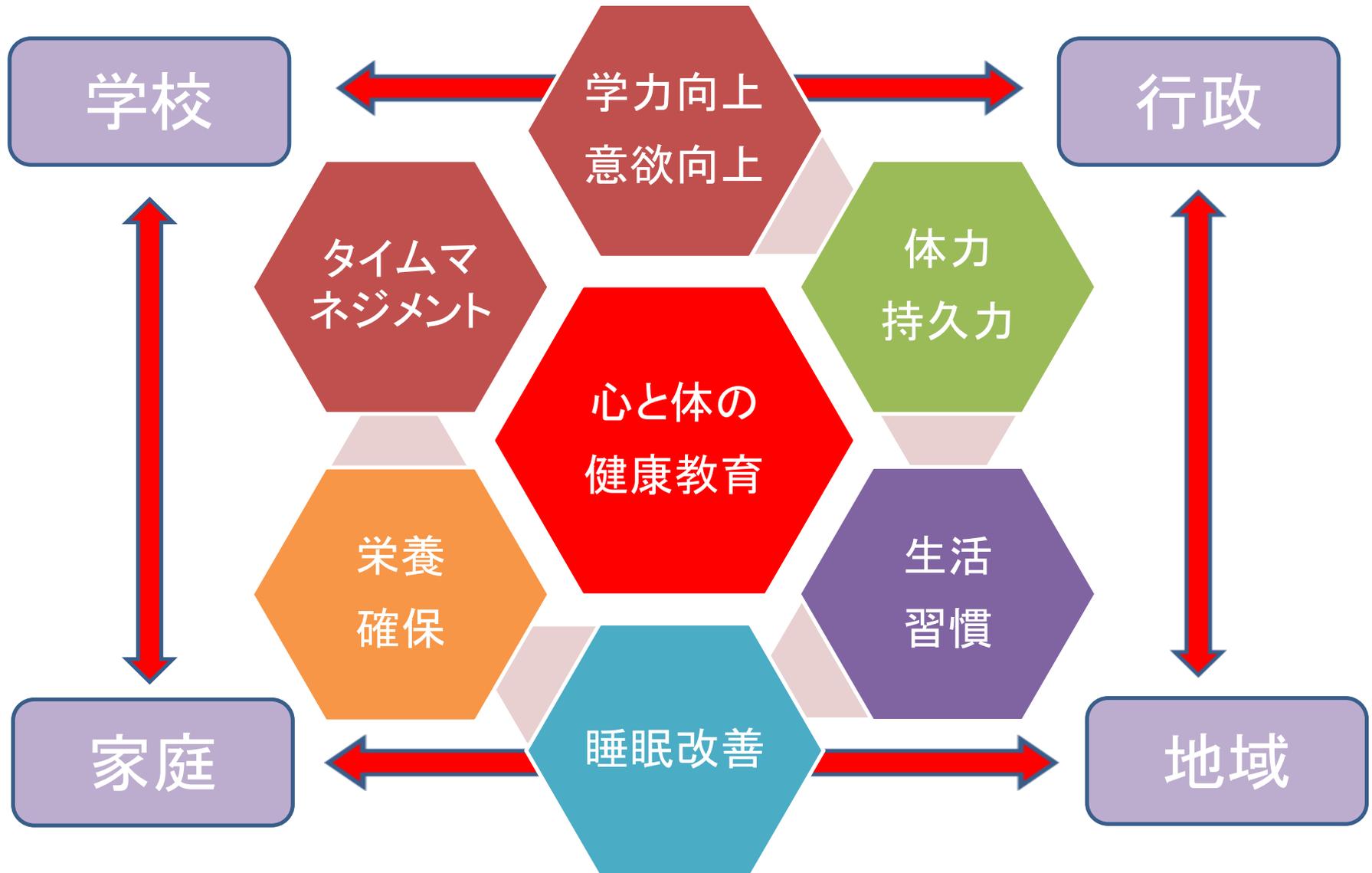
しかし、9～10時間寝ている人になると、また減少しはじめます。

以上より、医学的な面からだけでなく、日常生活（学習、だるさ、自尊心）からも

8～9時間寝ることが大切だと言えます。

8時間以上の睡眠 = めざせ9時間睡眠 となるのです。

健康教育がもたらすもの



研究主題：健康で豊かな心を育み、 学びに向かう力を高める授業の実践

先進的な研究としての「健康教育」(Well-being Education)

世界保健機関 (World Health Organization: WHO) 憲章前文
Health is a state of complete **physical, mental and social well-being** and not merely the absence of disease or infirmity.
健康とは、病気ではないとか、弱っていないということではなく、**肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態**にあることをいいます。(公益社団法人 日本WHO協会仮訳)

<https://japan-who.or.jp/about/>

研究推進のキーワード

Well-being よく在ること(体・心・社会の在り方)

Healthy 健康的な・健全な(在り方・考え方)

Management 経営(Life Management)

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/079/sonota/1412985_00002.htm

～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(答申)【概要】

第Ⅰ部 総論

https://www.mext.go.jp/content/20210126-mxt_syoto02-000012321_1-4.pdf 令和3年1月26日
中央教育審議会

1. 急激に変化する時代の中で育むべき資質・能力

- 社会の在り方が劇的に変わる「Society5.0時代」の到来
- 新型コロナウイルスの感染拡大など先行き不透明な「予測困難な時代」

新学習指導要領の着実な実施

ICTの活用

一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが必要

2. 日本型学校教育の成り立ちと成果、直面する課題と新たな動きについて

成果

- 学校が学習指導のみならず、生徒指導の面でも主要な役割を担い、児童生徒の状況を総合的に把握して教師が指導を行うことで、子供たちの知・徳・体を一体で育む「日本型学校教育」は、諸外国から高い評価
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、全国的に学校の臨時休業措置が取られたことにより再認識された学校の役割
①学習機会と学力の保障 ②全人的な発達・成長の保障 ③身体的、精神的な健康の保障 (安全・安心につながる可以保证の居場所・セーフティネット)

課題

子供たちの意欲・関心・学習習慣等や、高い意欲や能力をもった教師やそれを支える職員の力により成果を挙げる一方、変化する社会の中で以下の課題に直面

- 本来であれば家庭や地域でなすべきことまでが学校に委ねられることになり、結果として学校及び教師が担うべき業務の範囲が拡大され、その負担が増大
- 子供たちの多様化 (特別支援教育を受ける児童生徒や外国人児童生徒等の増加、貧困、いじめの重大事態や不登校児童生徒数の増加等)
- 生徒の学習意欲の低下
- 教師の長時間勤務による疲弊や教員採用倍率の低下、教師不足の深刻化
- 学習場面におけるデジタルデバイスの使用が低調であるなど、加速度的に進展する情報化への対応の遅れ
- 少子高齢化、人口減少による学校教育の維持とその質の保証に向けた取組の必要性
- 新型コロナウイルス感染症の感染防止策と学校教育活動の両立、今後起こり得る新たな感染症への備えとしての教室環境や指導体制等の整備

教育振興基本計画の理念
(自立・協働・創造)の継承

学校における
働き方改革の推進

GIGAスクール構想の
実現

新学習指導要領の
着実な実施

必要な改革を躊躇なく進めることで、従来の日本型学校教育を発展させ、「令和の日本型学校教育」を実現

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して ～全ての子供たちの可能性を引き出す、 個別最適な学びと協働的な学びの実現～

・ 第 I 部 総論 1. 急激に変化する時代の中で育むべき資質・能力

○4 国際的な動向を見ると、国際連合が平成 27(2015)年に設定した持続可能な開発目標(SDGs)などを踏まえ、自然環境や資源の有限性、貧困、イノベーションなど、地域や地球規模の諸課題について、子供一人一人が自らの課題として考え、持続可能な社会づくりにつなげていく力を育むことが求められている。また、経済協力開発機構(OECD)では子供たちが 2030 年以降も活躍するために必要な資質・能力について検討を行い、令和元(2019)年 5 月に“Learning Compass 2030”を発表しているが、この中で子供たちが**ウェルビーイング(Well-being)※**を実現していくために自ら主体的に目標を設定し、振り返りながら、責任ある行動がとれる力を身に付けることの重要性が指摘されている。

※OECD は「PISA2015 年調査国際結果報告書」において、ウェルビーイング(Well-being)を「生徒が幸福で充実した人生を送るために必要な、心理的、認知的、社会的、身体的な働き(functioning)と潜在能力(capabilities)である」と定義している。

健康教育の方向性と具現化

健康・
自己肯定感・
豊かな心・
学力

健康教育 食事・睡眠・運動等の関係

- ・食事(栄養・時間・習慣) 食育
- ・睡眠(発達・リズム・障害) 睡眠教育
- ・運動(休憩・休息・習慣) 保健体育

学校としての方向性

- ・教師の姿勢と方向性(ベクトル)
- ・働き方改革とWork Life バランス
- ・生徒個々の自覚と意識
- ・生徒相互の関係・雰囲気
- ・グループやチームによる行為
- ・家庭との連携・協働・共生
- ・地域との関係
- ・教育委員会との関係

教科等での学習

保健体育

総合的な学習の時間

道徳(特別の教科道徳)

特別活動(委員会・係)

全校体制 生徒会活動

適切なツール等の開発

例

- ・生活記録や健康日誌の作成・活用
- ・健康認定検定の実施
- ・栄養・睡眠・運動についての外部講師の招聘

【健康教育】実施に伴う

スクール・カリキュラムのデザイン

カリキュラム・マネジメントと研究推進のリーダーシップ

学校全体の

方向性

育てたい生徒

- 健康教育の意義・価値の共通理解・周知
- 豊かな人間性: 誠実・思いやり・規範意識
- 確かな学力: 自主・自律・知性・感性・意欲
- 健康: 心身の健康・生き抜く力・耐性 等
- 人生設計・人生経営 (Life Management)

Society5.0
学校3.0
生活と学びの土台
となる健康教育

研究主題

各教科・総合的な学
習の時間

道徳・特別活動

- 知・徳・体による「生きる力」と学習指導要領の方向性
- 何ができるようになるか 何を学ぶか どう学ぶか
(主体的・対話的で深い学び)
- 学びにむかう力・人間性の涵養
- 生きて働く知識・技能の習得
- 思考力・判断力・表現力等の育成
- **生活力・体力・気力・意思力の根源＝健康**

生き方・在り方
学び方の指導
生活と学習の改善
Healthy Life
Management

学校生活・家庭生活
の改善

良き習慣の獲得

チーム・グループの
活用

健康教育の
年間指導計画・
単元指導計画へ
の
位置づけ

- 方向性(ベクトル)の提示
- 健康学習の見通し(シラバス)の提供
- 教科の特性の明確化と対応した学び
- 健康教育の単元デザインの構築・開発・工夫・改善
- 学びのマネジメント・サイクルの効果的改善
- 授業の展開(導入・展開・振り返りの工夫) 16
- 振り返り(年間・単元・授業)による確認

健康経営 (Health Management) という考え方を学び、実践する

健康経営の
新たなキーワード

Social

Physical

Mental

Well-being
ウェル・ビーイング

健康な心と体の上に成り立つ
豊かな心と学ぼうとする意思

Physical Well-being 体の健康

- バランスの取れた栄養・食事・水分補給
- 定期的かつ適度な運動をする
- 適度に日光を浴びる
- 筋力・柔軟性・持久力を高める
- 十分な休息や睡眠をとる
- 健康的な生活習慣の実践（早寝 早起き 朝ご飯）
- 家庭での安心・安全と必要に応じた適切な処置
- 必要な時、病院で受診し、適切な治療を受ける
- 慢性的な病気や疾患、障害と付き合い、活動する
- 大人 タバコを止め、アルコールを控える

Mental Well-being 心の健康

- 「自分の可能性を高め、建設的・創造的に活動し、他者と良好な関係を築き、社会に参画できる状態」
- 新しい経験や体験に感動し、知識・技能を学ぶ
- 他者に笑顔で明るく挨拶し、感謝・愛語を伝える
- 他者と健全で良好な人間関係を築く
- 何かに興味・関心をもち、それに取り組める
- 目的や目標をもち、その実現に努力する
- 自分の能力や可能性を伸ばそうとする
- 仕事や生活上の課題に適切に対応できる
- 変化や不確実なこと、予想外のことにも対処できる

Social well-being 社会的健康

- 社会への所属や一体感、団結・結束すること、社会の中で役立ち、認められ、受け入れられること
- 安心・安全で、共感でき、ともに過ごせる集団
- チームのメンバーとして目標や活動を共有できる
- 互いに信頼し、能力や可能性を高めることができる
- 対等・公平であり、差別や偏見がなく、不正がない
- 考え方や文化などの多様性が受け入れられる
- 家庭の状況や家族関係にとらわれず過ごせる
- けがや病気、障害があっても安心して過ごせる
- 意見の不一致を解決できるよう皆で工夫できる²⁰

Well-being ウェル・ビーイング

よく在ること・より良く生きること

◆チャレンジ精神と主体性

「何でもやってみよう」で自己実現と成長を！

◆絆と感謝の重視

「ありがとう」「おかげ様で！」で人とつながる！

◆自律性と個性の確立

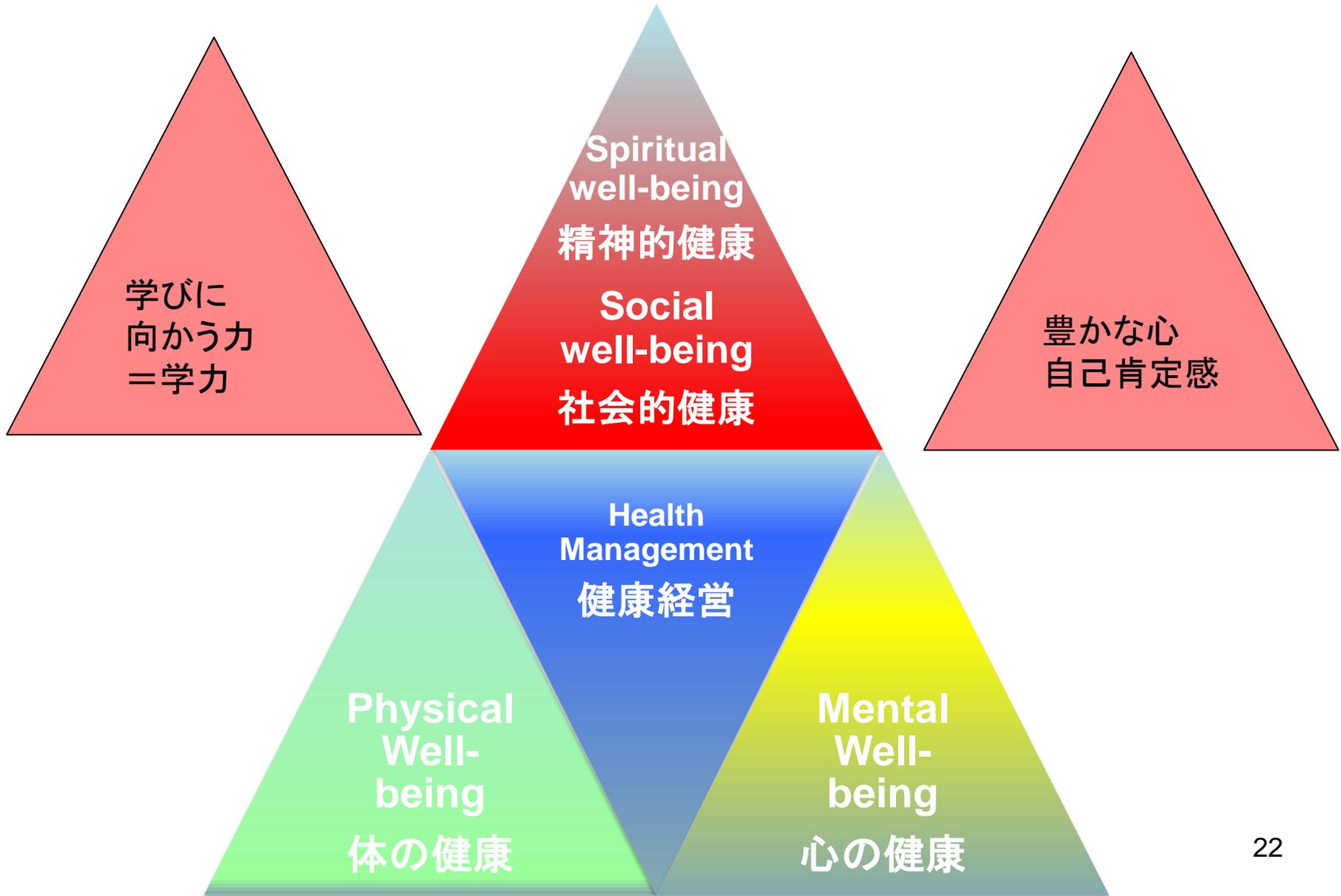
「自分らしく」「自分なりに」でOK。Only Oneを！

◆肯定的な楽観主義 肯定的自己評価・他者評価

「なんとかなる」「なるようになる」の精神で！

ネガティブではなくポジティブな生き方の指導

健康教育の方向性



Healthy 健康的な ヘルシーな～

- 食事
- 運動
- 睡眠
- 生活
- 思考(考え方)
- 感性(感じ方)
- 人間関係
- 学習・学力
- 働き方

極端に走らず
「調整する」力・
バランス力が必要

Health
Management
健康経営

ライフ・デザインカ/ライフ・マネジメント力の育成

進路

生活 学習

夢の達成
自己実現

将来への道筋

学習成果

生活と心構え

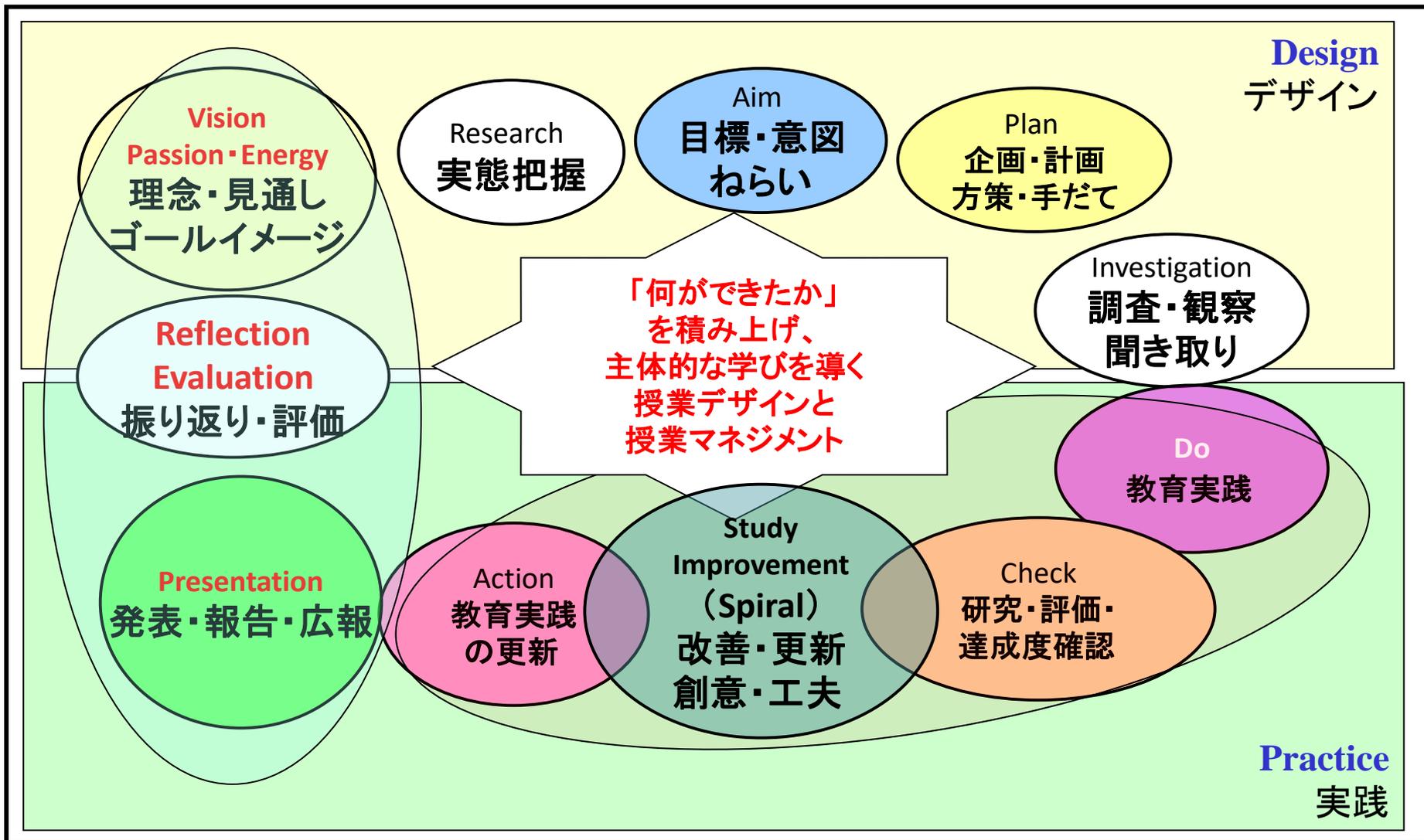
- ★ 自分の夢・未来への展望・将来への思いをもつ
- ・ どうすればなれるか ・ どのように実現できるか
 - ・ 何が必要か ・ 資格や条件は何か
 - ・ そのために何が必要か ・ どのような過程か
 - ・ とりあえず、今何をするか ・ 次に何をするか
 - ・ その後はどうするのか

- ★ 学ぼうとする姿勢を持つ
(学習を楽しみ実力をつける)
- ・ 学習目標を具体的に決める
(いつまでに何を目指すか)
 - ・ 計画を立て、それを実行する
(意志を強くもち、あきらめずに努力する)
 - ・ 結果を振り返り、次に備える
(反省・評価・次の課題や準備)
 - ・ 授業を大切にする
 - ・ 学習習慣を罪につける
(宿題・予習・復習)
 - ・ 予習は分からないことを知ること
 - ・ 復習は学習を振り返ること

- ★ 先生とともに楽しい授業を創る
(創意・工夫・改善でより良い授業を)
- ・ 授業は先生と生徒で創るもの
 - ・ 良い学習集団は良い成績をもたらす
 - ・ 生徒↔先生の関係をよくする
 - ・ 皆で面白さを見つけ、それを高める
 - ・ 信頼と敬意のある学習の場にする
(授業でも「あじみそ・マモル」を)
 - ・ 学ぶことへの敬意 ・ 先生から学ぶ気持ち
 - ・ よく考え、自分の意見をもち、表現する
 - ・ 話し合い、教えあいながら学習する
 - ・ 粘り強く・丁寧に・継続して学習する

- ※ 学習と結びつく学校生活 (心と体の健康 楽しく・明るく・安全・安心な学校生活)
- ・ 人の話をきちんと聞く(相手を大切にする お互いに話し合える 話して良かったと思える)
 - ・ 授業のルールを守る (チャイム着席・忘れ物をしない・授業を妨害しない・予復習をする)
 - ・ 学校生活のルール・授業のマナー・一人ひとりのモラル(心がけ・心構え)を大事にする
 - ・ 「学びの場」にふさわしい身だしなみ(服装・髪型) しぐさ(姿勢・相手意識・態度)
言葉づかい(場と相手に応じた敬語) (学習の場の緊張感) (学習集団の雰囲気の上)

生徒の「学び」の力を高める学びのデザインとマネジメント・サイクルの活用



指導から「学び」へ このマネジメント・サイクルを生徒の「学び」に活かす

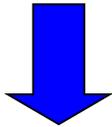
【健康教育推進】に向けての 教師の役割(意識と行為の観点から)

「意識」と「行為」
について
自覚させる

学習者の
「意識と行為」
の状況
はどうか？

ファシリテーター(促進者)として

- ・「健康を意識させ、学び」の見通しを持たせる。
- ・健康に対する理解を深める。
- ・行為するための問いを生成する。

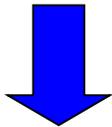


「意識と行為」
を励まし支える

今、何をすれば
学習者の
「意識と行為」が
改善されるか？

コーチ(支援者)として

- ・学習者の意識と行為をしっかりと見とる。
- ・生活上のタイムマネジメントを行う。
- ・行為や認識の自己コントロールを図る。
- ・コミュニケーション場面を創造する。
- ・必要な情報を提供する。



「意識と行為」
学習や取組みを
意味づける

きちんと
「意識と行為」を
振り返らせ、
評価させている
か？

メディエーター(媒介者)として

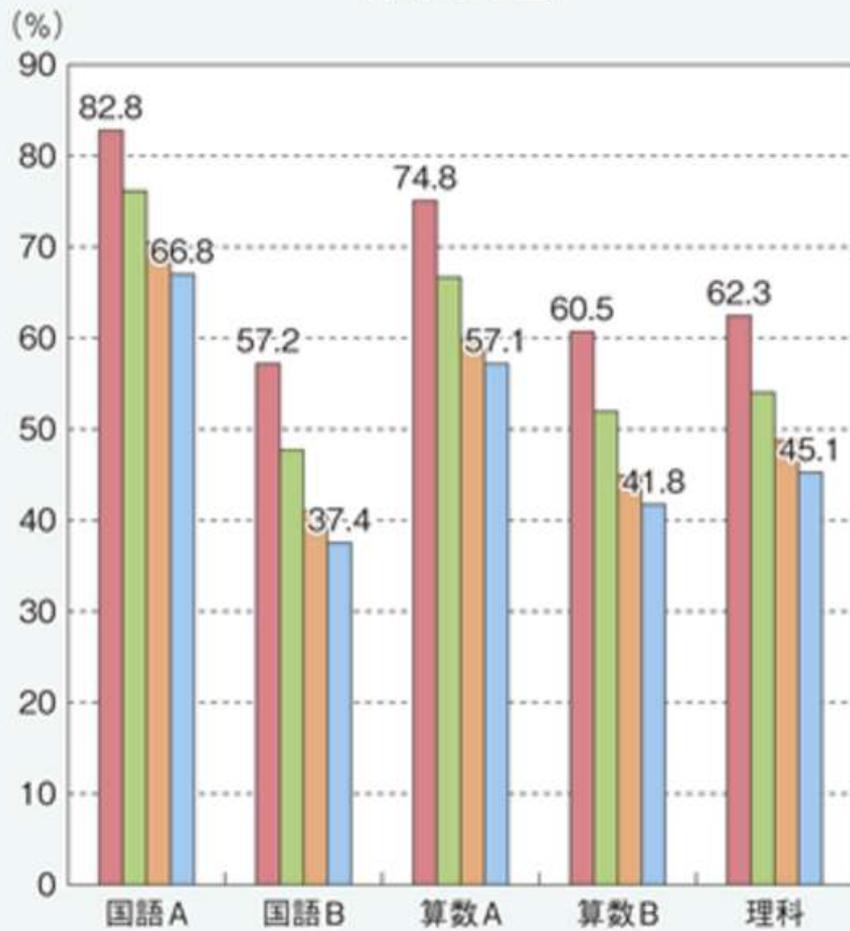
- ・健康教育の意味を一緒に考える。
- ・意識と行為の成果を吟味する。
- ・学習者が発見した価値を共有する。
- ・行為の工夫を方法として言語化する。

学力・能力に影響する家庭教育資本

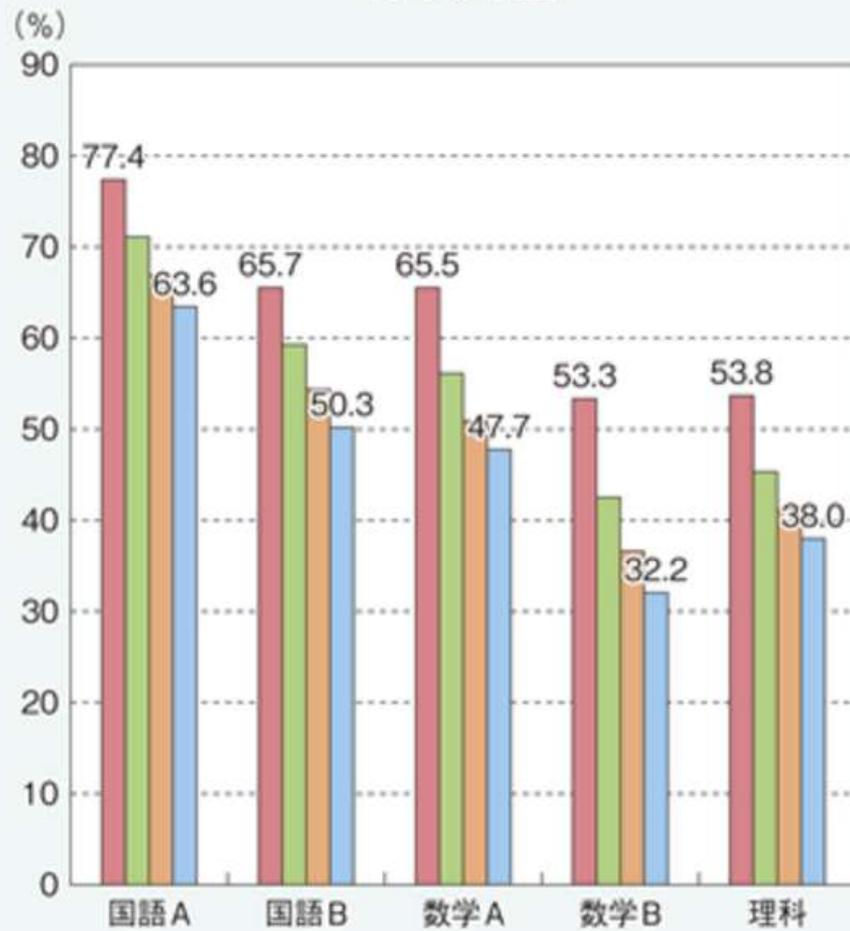
図表 2-2-6

朝食の摂取と学力調査の平均正答率との関係

〈小学6年生〉



〈中学3年生〉



毎日食べている どちらかといえば、食べている あまり食べていない 全く食べていない

(出典) 文部科学省「平成24年度全国学力・学習状況調査」より作成

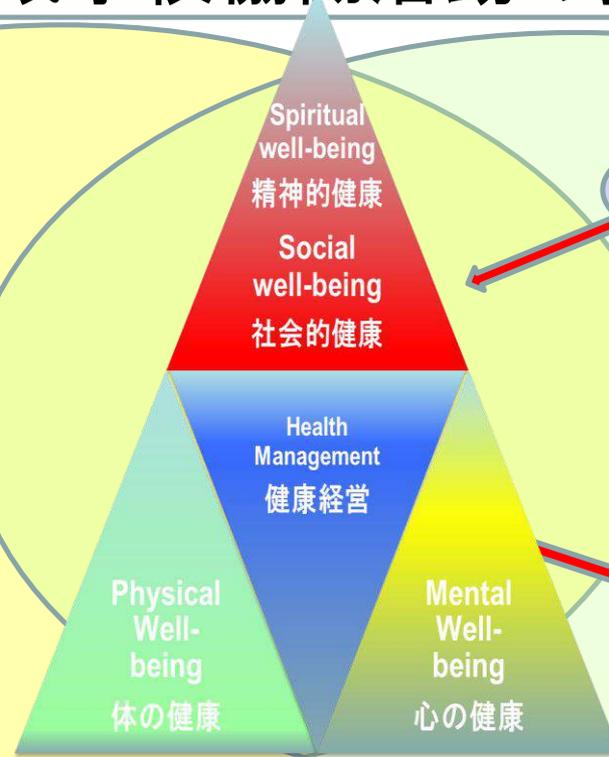
家庭教育の大切さ

- 早寝・早起き・朝ご飯 の重要性
- 朝食をとるかとらないか 朝、時間で起きられるか
- 夜、早めに寝ることができるか
- 家庭での学習習慣があるか
- 家庭で本を読む環境があるか
- 明日の学習の準備を前日にできるか
- 朝、勉強する習慣があるか
- 土曜日や日曜日に文化・スポーツになじめるか
- 文化的な刺激があるか etc.
- **学校・家庭・地域・教委の連携・協働・共生で！**

学校と家庭・地域社会を健康教育でつなげる

社会に開かれた教育課程
地域学校協働活動の推進

学校教育



指導者養成

家庭教育
社会教育

学習教室
開設

カリキュラム・マネジメント

子供や学校の抱える課題の解決、未来を担う子供たちの豊かな成長のためには、
社会総掛かりでの教育の実現が不可欠です。

現在の子供たちの教育環境を取り巻く状況

学校の統廃合

いじめ・暴力

ICT・情報化

少子高齢化

核家族化

外国語教育

アクティブ
ラーニング

人口減少の進行

地域社会のつながりや支え合いの希薄化

貧困問題の深刻化

児童虐待の増加

★ **社会の動向** ★

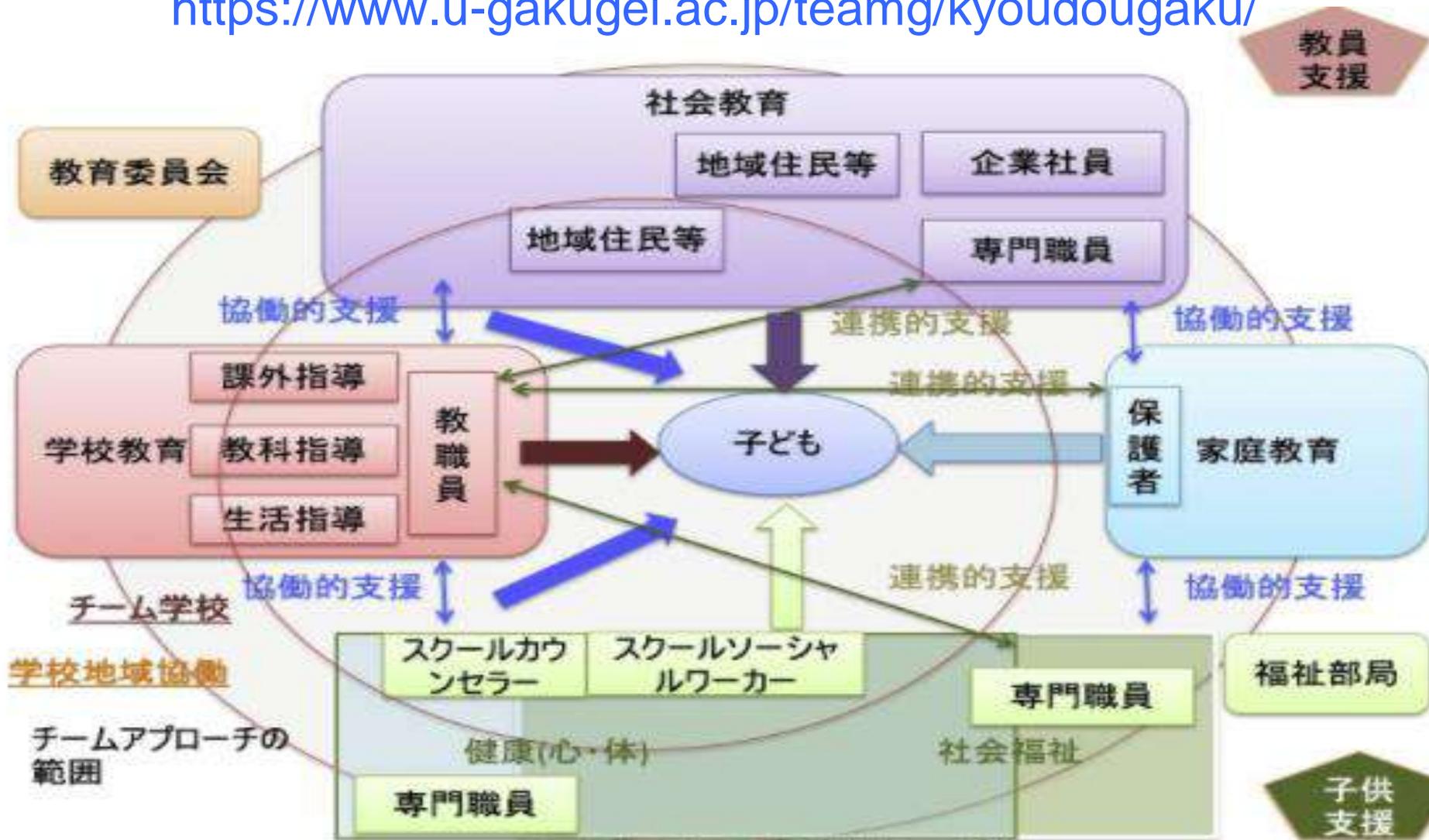
グローバル化の進展

子供たちの規範意識や社会性等の課題

複雑・多様化した学校の課題に伴う教職員の勤務負担

子どもを取り巻く教育支援の現状は

<https://www.u-gakugei.ac.jp/teamg/kyoudougaku/>



この在り方をどのように連携・協働・共生につなげるか

ご協力、ありがとうございました。

(一社)教育デザイン研究所

新宿区四谷1-18高山ビル JR/地下鉄四ツ谷駅徒歩3分

TEL 03-5341-4227 Fax 03-4332-2338

リアルとオンラインによるハイブリットな学びの追求

非常勤講師を正規教員に！(Zoomによる教員採用試験対策講座)

表現・創作型の英語・国語・プログラミング等の言語学習

大型タッチスクリーンによるハイブリットスタジオ/会議室設定予定

<https://educational-design.jimdo.com/>

事務局: yoshidak13@edri.tokyo 個人 yoshidak13@goo.jp



日本大学文理学部教育学科(非常勤講師)

文部科学省審査会(主査)

町田市教育委員会教育プラン点検評価者

町田市社会教育・生涯学習審議会(会議長・会長)

町田市図書館協議会委員・小金井市図書館協議会委員

東京都教育委員会地域協働活動推進事業推進員

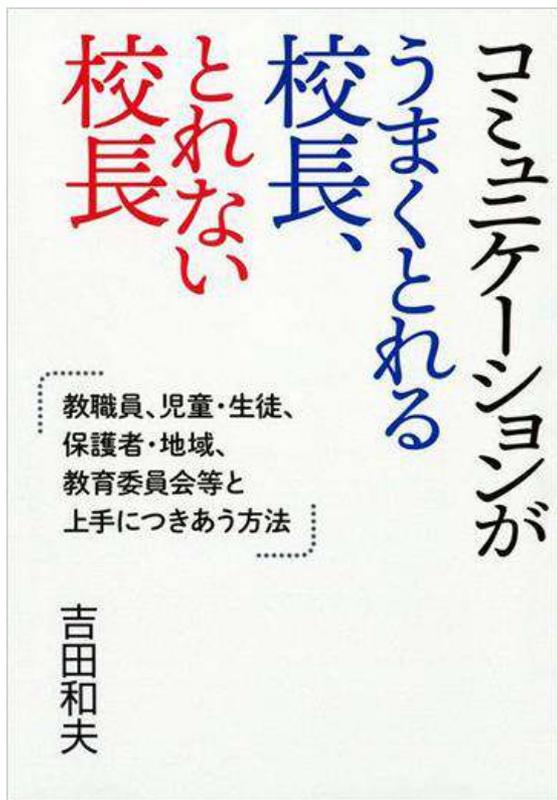
・狛江市地域協働活動統括コーディネーター

DAC未来サポート文化事業団(理事)

NPO英語運用能力評価協会(言語アドバイザー)



コミュニケーション・ストラテジーの提案



吉田和夫 著
四六判 192ページ 定価(本体1,800円+税)

ISBN978-4-7619-2579-6

教職員や児童・生徒、保護者や地域に校長の教育理念を伝え浸透させ、めざす学校づくりを実現するためには、コミュニケーション力が最も重要。具体的な事例を取り上げ、コミュニケーション力を高める基本的な考え方や方策を示す。

はじめに

第1章 なぜいまコミュニケーション力が大事なのか

第2章 教職員とのコミュニケーションがうまくいく方法

- 1 職員室の雰囲気が悪い 【事例1】やる気のないベテラン教員
- 2 明るい職員室が生き生きとした児童・生徒を育む 【事例2】現任校に不満をもつ教諭
- 3 校長の言葉かけと教員の指導 【事例3】地域同士の反目が生徒に影響
- 4 チーム学校を目指して 【事例4】教職員や児童・生徒とうまくいかない
- 5 チーム学校とは言うけれど 【事例5】自分のやり方を押し通す事務主事
- 6 教職員間での立場の違いが生む意見対立 【事例6】学校司書と国語科教諭の対立
- 7 多忙な教師をおそう「うつ病」への対応 【事例7】前任校での「うつ」を知らされず転任

第3章 児童・生徒とのコミュニケーションがうまくいく方法

- 1 児童会・生徒会・委員会役員などとの対話 【事例8】生徒の自主性・自律性を生かした学校づくり
- 2 不登校やいじめ被害の児童・生徒への対応 【事例9】いじめが原因の不登校
- 3 課題のある児童・生徒への対応 【事例10】次第に欠席が増えていく生徒
- 4 特別な支援を要する児童・生徒への対応 【事例11】介助が必要な2人の児童
- 5 うつ病の可能性のある児童・生徒への対応 【事例12】落ち込むことが多くなった児童

第4章 保護者・地域とのコミュニケーションがうまくいく方法

- 1 学校への不信・不満をもつ保護者への対応 【事例13】担任に対する保護者の不満
- 2 クレームの多い保護者への対応 【事例14】クレーマーと言われる保護者の背景
- 3 PTAなど学校支援組織の保護者への対応 【事例15】行き詰まるPTA運営
- 4 学校運営協議会委員など地域の方への対応 【事例16】コミュニケーションに問題がある教頭
- 5 課題のある地域住民への対応 【事例17】騒音被害を訴える学校近隣住民

第5章 教育委員会・関係諸機関とのコミュニケーションがうまくいく方法

- 1 学校行事に関する教育委員会との調整 【事例18】創立周年行事をめぐる学校と教育委員会の対立
- 2 人員配置に関する教育委員会との対応 【事例19】人事異動の影響
- 3 教育委員会担当指導主事及び担当者への対応 【事例20】教育委員会との対応に問題がある教頭
- 4 教育委員会指導課(室)以外の関係者への対応 【事例21】プライベートで議員に話した内容が公に
- 5 関係諸機関との対応 【事例22】図書館とのタイアップのつもりが...

悩み多き教師の皆様に寄り添う本

教師らしいストイックな堅さは、諸刃の剣。堅いだけでは、壊れてしまう! ストレスを溜めない、悩まない! 人とつながる「教師」のための処世術!

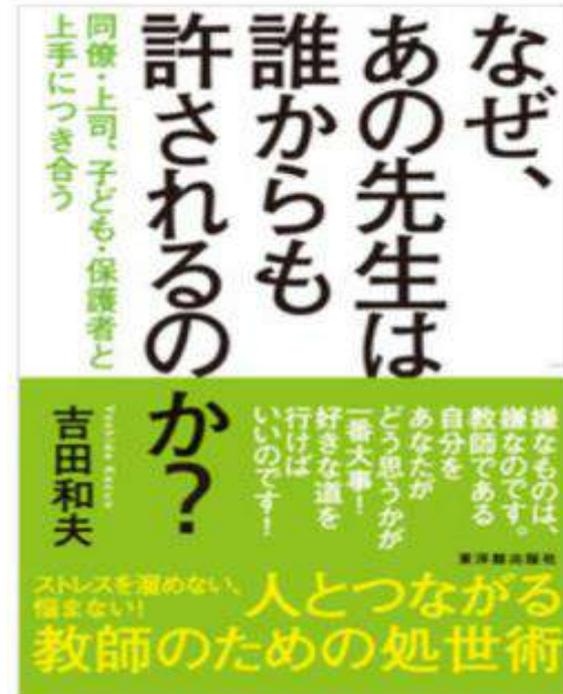
教師である自分を、あなたがどう思うかが一番大事! 自分をもっと好きになるノウハウ満載!

東洋館出版 2013年3月発行

現在4刷

定価 1,944円(税込)

<http://www.toyokan.co.jp/book/b107891.html>



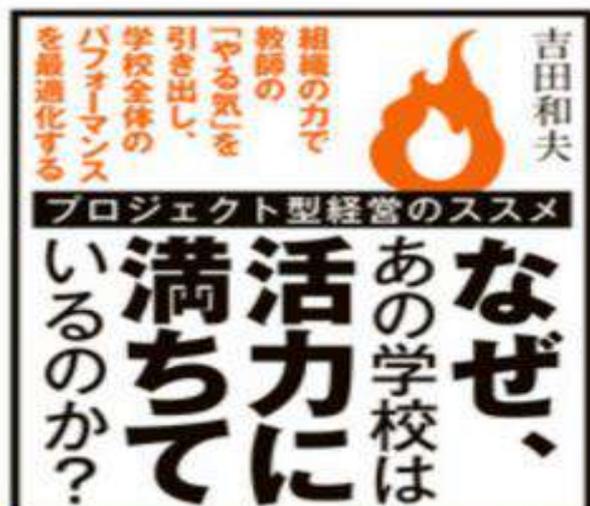
より良い学校経営と人財育成のための本

教員の「多忙感」を解消する学校経営、すなわちプロジェクト型経営を提案します。教員が仕事しやすい組織、教員のやる気を引き出すコーチングを通して、学校全体のパフォーマンスを高めます。そのプロセスで、教員間の「人間関係」をスムーズにし、教員の「多忙感」を解消します。

東洋館出版 2015年2月発行 現在4刷

定価 2,160円(税込)

<http://www.toyokan.co.jp/book/b193953.html>



仕事は「統合」する。
チーム力が教師を生かす、守る。
だから「多忙感」が解消する、
「活力」が生まれる。

主体的・対話的で深い学びを促す中学校・高校国語科の 授業デザイン アクティブ・ラーニングの理論と実践

<http://www.gakubunsha.com/book/b252991.html>

主体的・対話的で深い学びを促す
中学校・高校国語科の授業デザイン

アクティブ・ラーニングの理論と実践

編者 遠藤 達也
吉田 和夫 編著



中教審答申に示された「主体的・対話的で深い学び」、いわゆる「アクティブ・ラーニング」を取り入れた中学校・高校の国語科はどのように授業すればよいのか。その理論と方法を研究者が解説し、それらと関連づけてデザインした授業に取り組む教師がその実践内容を具体的に示しながら指導計画・展開例、評価規準等を丁寧に着した必読書。

「主体的・対話的で深い学び」 と読書・読書活動の関係

読書活動の意義や役割、その可能性を考えてみようとする先生方に、どの教科の授業でも、どの教科の教員でもすぐに手軽にできる読書活動や、授業の中で取り組める効果的な読書活動、読書指導を具体的に示す事例集。3刷決定



akuji.co.jp/book/978-4-111-8.html

読書及び読書活動は、
主体的・対話的で深い
学び である！

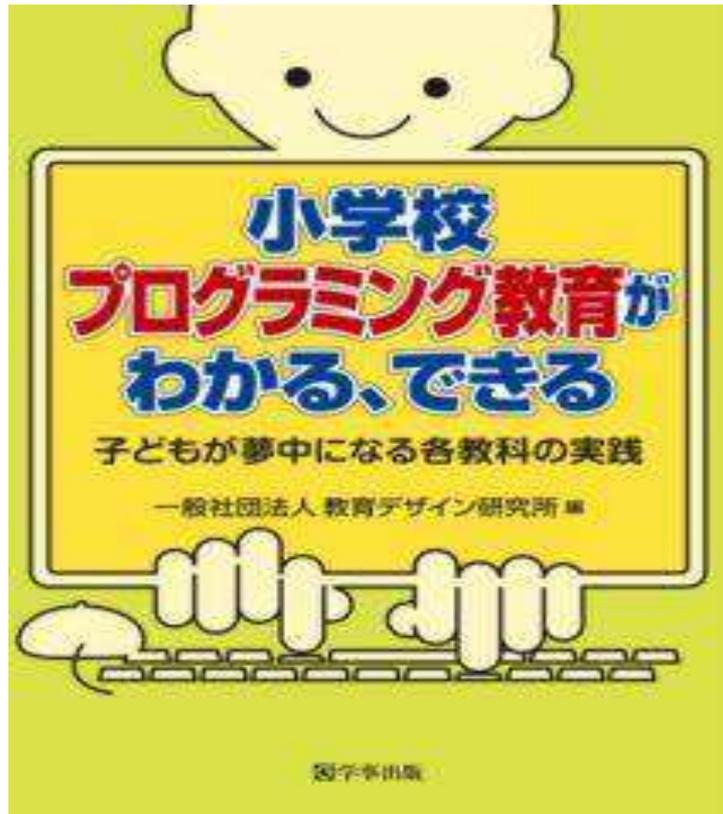
小学校の各教科、道徳、総合的な学習の時間、外国語活動で図書を活用した学習の先進的な実践事例集。単元指導計画、ワークシート例も豊富に掲載。楽しく・無理なく授業に読書を取り入れられます。

36

<http://www.gakuji.co.jp/book/978-4-7619-2328-0.html>



学校と社会教育を結ぶコンテンツとしての 言語としてのプログラミング学習



プログラミングは国語や英語と同じ「言語」だということです。いわば、機械を操作し、動かすための言語ということです。

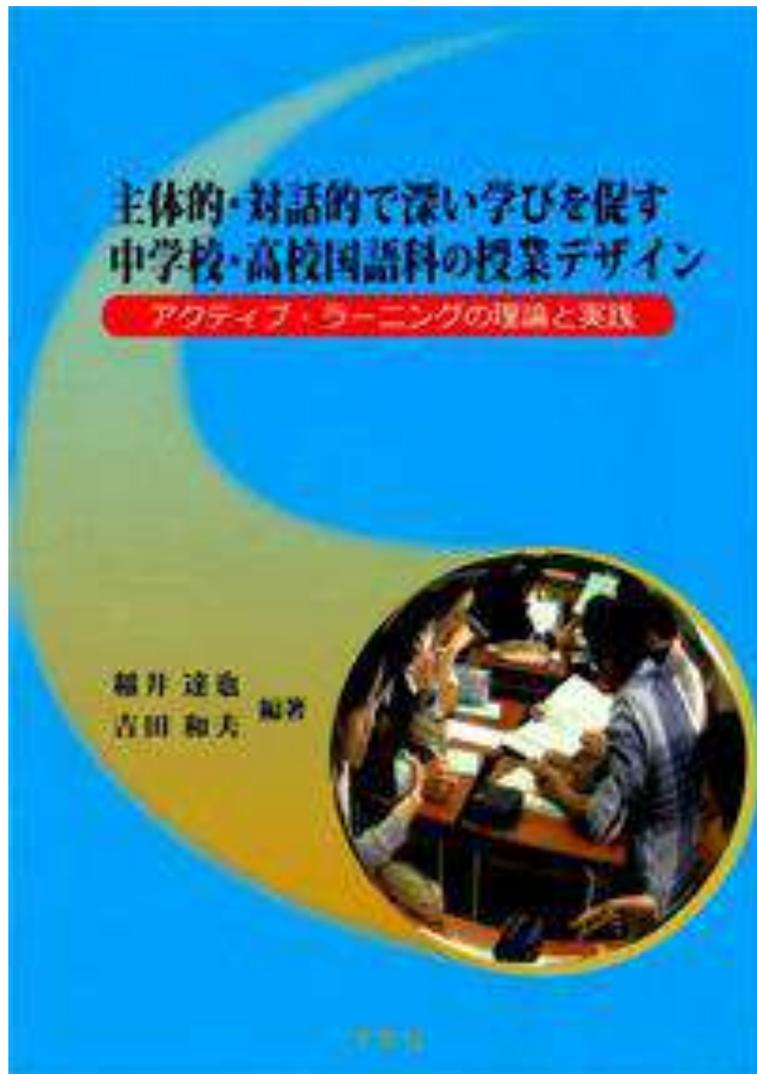
国語教育では、「順序立てて考える力」、「感じたり想像したりする力」、「伝え合う力」などが求められていますが、まさに、プログラミング学習もそれが求められることになります。小学校でのプログラミング教育は、このような広い意味での「ことばの力」をはぐくむものだと言えます。

中学校、高校、大学でのプログラミング教育はより専門的かつ工学的なものになるのですが、小学校で求められるプログラミング学習は各教科で行われる「ことばの力」を育成し、それぞれの教科の内容を補充するツール(道具)として機能します。

<http://social-edus.net/20177repprog/>

主体的・対話的で深い学びを促す中学校・高校国語科の授業デザイン アクティブ・ラーニングの理論と実践

<http://www.gakubunsha.com/book/b252991.html>



中教審答申に示された「主体的・対話的で深い学び」、いわゆる「アクティブ・ラーニング」を取り入れた中学校・高校の国語科はどのように授業すればよいのか。

その理論と方法を研究者が解説し、それらと関連づけてデザインした授業に取り組む教師がその実践内容を具体的に示しながら指導計画・展開例、評価規準等を丁寧に著した必読書。

「社会に開かれた教育課程」を実現する学校づくり

具体化のためのテーマ別実践事例15

貝ノ瀬 滋 [監修]

稲井 達也・伊東 哲・吉田 和夫 (編著)



「社会に開かれた教育課程」を実現する学校づくり—
具体化のためのテーマ別実践事例15 2018/12/12

学事出版発行

稲井 達也 (著, 編集), 伊東 哲 (著, 編集), 吉田 和夫 (著, 編集),

貝ノ瀬 滋 (監修)

第1部

「社会に開かれた教育課程」を進める学校づくりの概説

- 1 「社会に開かれた教育課程」とこれからの学校教育
～多忙化する学校改革の視点から～
- 2 「社会に開かれた教育課程」を実現する教育委員会との連携の在り方
- 3 「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた校長・副校長・教頭の役割
～スクール・マネジメントの観点から～
- 4 「社会に開かれた教育課程」を実現する要としての学校図書館
～学ぶとは知ること、学ぶとは変わること～

[コラム]

「社会に開かれた教育課程」の具体を生み出す方法的枠組みについて

第2部

「社会に開かれた教育課程」を進める学校づくりの実践事例

- [1] コミュニティ・スクール
- [2] 保幼小連携教育
- [3] 小中一貫教育
- [4] 「読書のまち」と読書活動
- [5] 健康教育
- [6] 食育(スーパー食育スクール)
- [7] 睡眠教育(みんなく)
- [8] がん教育
- [9] 観光教育
- [10] グローバル教育
- [11] ESD(持続可能な開発のための教育)
- [12] 人格(品格)教育
- [13] キャリア教育
- [14] 特別支援教育
- [15] 主権者教育

テーマ別に15の実践事例を収録。
新学習指導要領を具体化するカリキュラム・マネジメントの必携書。
【教育課程/小・中学校管理職対象】

教員養成と教育実習・教員採用試験



教師への第一歩、教育実習を成功させるために――

教育実習前後の心得や、実習中の留意事項を時系列で取り上げ、「学校とは」「教師の役割とは」…など自問自答しながら解決策を導き出す、自分で考え、自分らしさを発揮できる教育実習のための必携書！

時事通信社

玉川大学教師教育リサーチセンター著

2020年12月 時事通信社発行

定価：2200円＋消費税

ISBN：978-4-7887-1713-8



玉川大学教師教育リサーチセンター (編)

2020年12月 時事通信社発行

定価：2000円＋消費税

ISBN：978-4-7887-1693-3

効果的な研修会のためのDVD教材

大津市のいじめ自殺をきっかけに再びクローズアップされているいじめ問題。いじめに発展しやすいサインの見つけ方、兆候があった際の対応法を映像で解説。

【小・中・高校管理職・教職員研修用】

●DVD31分 手引書、研修用ワークシート付き
学事出版(2014/12/15)

急速に普及するスマホ・ネットに関連しての子ども達のトラブルが増加しているが、教師や保護者は知らないことが多い。知っておくべき知識、予防、対応を映像で解説。

【小・中・高校管理職・教職員研修用】
学事出版(2015/12/15)

●DVD31分
手引書、研修用ワークシート付き
学事出版(2014/12/15)

3巻とも、全て定価 12,960円(税込)

心を病み休職、さらには退職に至る教職員は年々増加している。本人や周囲が不調のサインに早期に気づき、対応するためのポイントを映像でわかりやすく解説。

【小・中・高校管理職・教職員研修用】

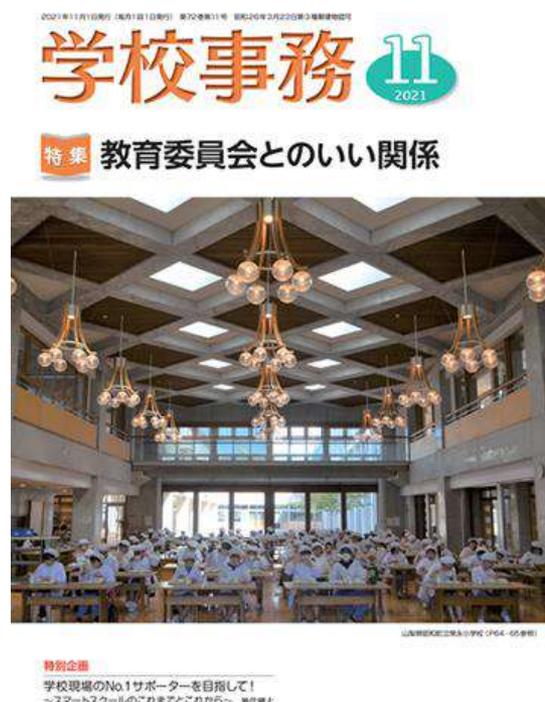
●DVD31分
手引書、研修用ワークシート付き
学事出版(2014/12・15)



<http://www.gakuji.co.jp/book/978-4-7619-2085-2.html>

見本動画あり！

現在、月刊誌3誌にコラムを連載中！



新しい「ラーニング・コミュニティを
みんなで創ろう」で連載中

日本青年館 発行
<http://social-edu.com/>

2020年4月より「学校の理不尽について」
両誌に同時連載中！

学事出版 発行
<http://www.gakuji.co.jp/magazine/principal/index.html>